

## 平成30年度 事後評価書要旨

<b>対象事業名</b>	若狭町工業用水道事業
<b>1. 事業の目的</b>	
<p>若狭町工業用水道事業は、福井県が建設を進めている河内川ダムに水源を求め、若狭中核工業団地への給水を目的としている。若狭中核工業団地は、福井県嶺南地域において先進技術の導入や既存工業の高度化活性化を目的とし、福井県と若狭町(旧上中町)において開発整備され、昭和60年に福井県と地域振興整備公団の調査により1,600m<sup>3</sup>/日の工業用水が必要であると判断された。調査結果から事業計画当時において上水道を工業用水に利用することも検討されたが、供給量1,600m<sup>3</sup>/日は当時の上水道計画給水量の約50%を占めることとなり、上水道運営の圧迫を引き起こす危険性があった。</p> <p>このため、新たに工業用水道事業として上中町工業用水道事業を設置し、昭和62年度より建設を開始し、河内川ダム完成までの暫定水源である地下水を水源として平成4年4月より一部給水を開始した事業である。</p> <p>なお、平成17年3月31日をもって上中町は三方町と合併し、若狭町工業用水道に変更している。</p>	
<b>2. 事業の必要性</b>	
<p>(1) 背景</p> <p>若狭町工業用水道事業は、福井県嶺南地域における先進技術産業の導入、既存工業の高度化・活性化を目的とした若狭中核工業団地への2,600m<sup>3</sup>/日の工業用水の供給を目的としている。</p> <p>しかし、水源を地下水に求めており、地下水障害を未然に防止する観点からも、表流水への水源転換は不可欠であり、新たな水源として河内川ダム(1,600m<sup>3</sup>/日)への切り替えが必要である。</p> <p>(2) 必要性</p> <p>本事業は、平成4年4月からの一部給水開始以来、給水先企業数・給水契約量とも増加しており、当初計画給水量1,600m<sup>3</sup>/日に対して平成27年度においては、契約企業数7社・契約給水量2,025m<sup>3</sup>/日であった。そのため、地下水低下による地下水障害の未然防止と工業用水需要に対する安定した供給確保を目的とし地下水から表流水への水源転換が不可欠であり、新たな水源である河内川ダムの早期完成が必要である。</p>	
<b>3. 効果とコストとの関係に関する分析</b>	
<p>A. 総便益 ; 47.50億円</p> <p>B. 総費用 ; 38.50億円</p> <p>費用便益比 ; 1.23 (A/B)</p>	
<b>4. 評価結果</b>	
<p>本事業は「工業用水道事業に係る政策評価実施要領」に照らし合わせた結果、現計画による整備は適切であると認められることから、引き続き補助金交付対象事業として予算要求する。</p>	